

神奈川県産のウシノケグサ属植物について

2. トボシガラ

田 中 徳 久

Norihisa TANAKA : Notes on the Genus *Festuca*
(Gramineae) in Kanagawa Prefecture
2. *Festuca parvigluma*

SUMMARY : This study was carried out to reconfirm *Festuca parvigluma* occurring in Kanagawa Prefecture. As a result, one species; *Festuca parvigluma* was identified, but it is assumed these specimen contain two types; one of them is a long glume type and the other is a short glume type.

はじめに

ウシノケグサ属植物のうち、田中 (1992a, b) によって扱われていない種で、神奈川県下から報告されているものは、トボシガラ *F. parvigluma* STEUD. のみである (松野編, 1933; 神奈川県博物館協会編, 1958; 宮代, 1958; 神奈川県植物誌調査会編, 1988ほか)。

しかし、神奈川県産のトボシガラの中には、苞穎の短い型と長い型の2型が含まれているが、この2型については、これまで知られておらず、この両者の分類学的な検討は行われていない。そこで本報では、神奈川県産のトボシガラの変異について検討を加えるとともに、ヤマトボシガラ *F. japonica* MAKINO やオオトボシガラ *F. extremiorientalis* OHWI の神奈川県における分布を再検討した。

材料および方法

本研究には、田中 (1992b) 同様、『神奈川県植物誌1988』(神奈川県植物誌調査会編, 1988) のために神奈川県植物誌調査会の会員の方々によって採集された標本、およびその発刊後に追加・補充された標本のうち、神奈川県立博物館に所蔵されているものを用いた (略号: FLK)。神奈川県立博物館に所蔵されてい

るこれらの標本のうち、トボシガラと同定されているものは128点であったが、これらのうち、不完全な標本を除いた126点の標本について検討した。

なお、所検標本のうち、著者がトボシガラと同定した123点の標本より、それぞれ任意の1個の小穂について、第1苞穎と第2苞穎の長さを測定した。

結果および考察

本研究によって、所検標本中にはヤマトボシガラ、オオトボシガラの両種は含まれておらず、神奈川県下には、トボシガラ1種が分布することが再確認された。

しかし、このトボシガラについては、苞穎の長さに着目すると、苞穎の短い型と苞穎の長い型の2つの型が、その中に混在していることが明らかになった。この2つの型は、1点1点の標本をはっきりと分けることは困難であるが、図1に示したように、おおよそ2つに分離することは可能である。また、苞穎の短い型では、苞穎が多少鈍頭であり、苞穎の長い型では、多少鋭頭である傾向が認められたが、両型を分け得る形質は、苞穎の長さ、先端の形態のみであった。この2つの型のうち、苞穎の長い型については、当初、オオトボシガラと同定すべきではないかと考えたが、オオトボシガラにしては苞穎の長さも短く、他の形質からもトボシガラと同定した。

従来、大井 (1975) や北村ほか (1986)、長田 (1989) によりトボシガラと呼ばれてきたものは、この2つの型のうち、苞穎の短い型であると思われる。それに対し、KOYAMA (1987) によりトボシガラと呼ばれているものは、苞穎の長い型のようなものである。しかし、それぞれの文献に示されている諸測定値についても、特にその違いが顕著なのは苞穎の長さだけである (表

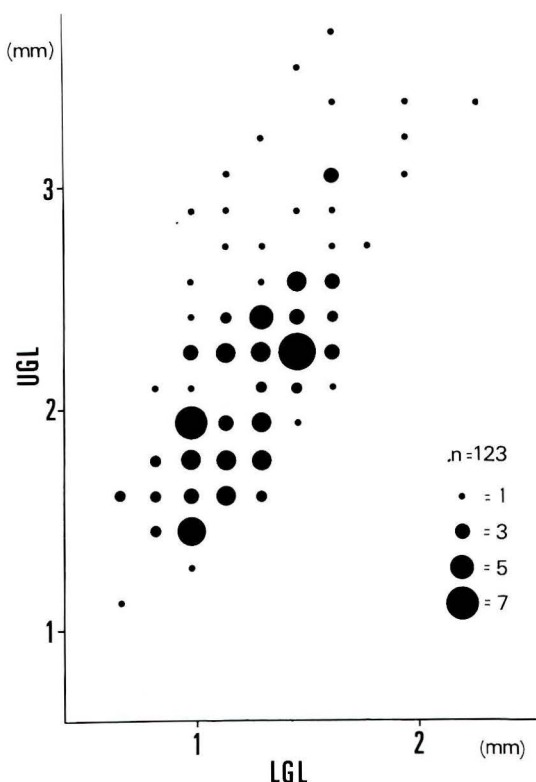


図1. トボシガラ (123個体) における第1苞穎および第2苞穎の長さの変異。
LGL: 第1苞穎の長さ (mm), UGL: 第2苞穎の長さ (mm), ●: 個体数 (個体)

1)。ただし、長田 (1989) と KOYAMA (1987) に示されている図では、苞穎の形態が異なるように見受けられる。この苞穎の長さについては、『神奈川県植物誌1988』(神奈川県植物誌調査会編, 1988) において、イネ科を担当された森茂弥氏も、標本のラベルに疑問を明記しておられた。

本研究では、前述の2型を種内分類群として認めるべきなのか、長田 (1989) らと KOYAMA (1987) は異なる種群をトボシガラと捉らえているのか、あるいは、トボシガラの苞穎の長さの変異がこれまで考えられていたより大きいのか、そのいずれとも結論するには至らなかった。また、前述のように、図1についても、2型が混在していることを示唆しているに過ぎず、苞穎の長さと先端の形態以外にこの2つの型を分け得る形質を明らかにすることもできなかった。そのため、本報では、神奈川県下から、トボシガラ1種を報告し、本種には、苞穎の短い型と長い型の2型が存在していることを指摘するにとどめた。今後、他の地域に分布するものについても、検討を進めていきたい。

表1. 各文献にみられるトボシガラの諸測定値の差

文献	大井 (1975)	北村ほか (1986)	KOYAMA (1987)	長田 (1989)
小花の数 (個)	3-5	3-5	3-5	3-5
小穂 (mm)	7-10	-----	7-9	7-9
第1苞穎 (mm)	1-1.5	1-1.5	1-1.5	1
第2苞穎 (mm)	-----	-----	2-3	1.5
小花 (mm)	-----	5-7	-----	5-8
護穎 (mm)	5-7	-----	6-7	5-6
護穎の芒 (mm)	5-7	-----	3-12	6-9
肉穎 (mm)	-----	-----	-----	5-6
穎 (mm)	-----	-----	0.7-1	0.5-0.7

本研究に用いた標本のデータについては、すべての所検標本を、1点1点、苞穎の短い型と長い型にはっきりと分けることは困難であったため、割愛したが、参考のため、両型の典型的と思われるものの一部のデータを以下に示した。表記の様式は田中 (1992b) に準じた。

苞穎の短い型: 津久井郡津久井町荒井林道 (TS-4), 19840609, 早川亮太, FLK62608; 川崎市宮前区鷺ヶ峰 (TAK), 19820523, 森本七子, FLK62620; 横浜市緑区黒須田 (MI-2), 19800511, 勝山輝男, FLK62552.

苞穎の長い型: 津久井郡津久井町神ノ川 (TS-3), 19830526, 城川四郎, FLK62614; 足柄下郡湯河原町天照山 (YU-1), 19820516, FLK62624; 鎌倉市十二所 (KA-2), 19840527, 小林純子, FLK62619.

なお、トボシガラと同定されていた以下の所検標本は、ウシノケグサ、オオウシノケグサと同定した。

ウシノケグサ: 厚木市七沢温泉 (AT-4), 19820613, 山本明, FLK62622.

オオウシノケグサ: 足柄下郡箱根町芦ノ湖西岸 (HAK-2), 19830612, 森茂弥, FLK62574; 厚木市不動尻〜大山 (AT-4), 19840701, 高橋秀男, FLK62646.

おわりに

本報告をまとめるにあたり、標本の閲覧について多大な便宜を計っていただき、貴重な御指導をいただい

た神奈川県立博物館の高橋秀男氏と勝山輝男氏に厚くお礼申し上げる。さらに、神奈川県内のたくさんの標本を採集された神奈川県植物誌調査会会員の方々に感謝の意を表する。また、森茂弥氏は、1991年9月に亡くなれたが、氏が標本のラベル等に残されたさまざまな記録やメモは、筆者にとってたいへん貴重な記録となっている。筆者の考えが、必ずしも氏の考えと一致するものではないと思うが、謹んで森茂弥氏の御冥福をお祈りするとともに、この一報を捧げたい。

摘 要

神奈川県立博物館に収蔵されているトボシガラの標本を再検討した結果、神奈川県下において、トボシガラ1種の分布が再確認された。しかし、その中には、苞穎の短い型と苞穎の長い型の2型が混在していることが明らかになった。

引用文献

- 神奈川県博物館協会（編），1958. 神奈川県植物誌. 257pp. 神奈川県博物館協会，横浜.
神奈川県植物誌調査会（編），1988. 神奈川県植物誌 1988. 1442pp. 神奈川県立博物館，横浜.

北村四郎・村田源・小山鐵夫，1986. 原色日本植物図鑑，草本編〔Ⅲ〕単子葉類. 465pp., pls. 108. 保育社，大阪.

KOYAMA T., 1987. *Grasses of Japan and Its Neighboring Regions, An Identification Manual*. 10+570pp. Kodansha, Tokyo.

松野重太郎（編著），1933. 神奈川県植物目録. 111+23pp., pls. 10. 神奈川県博物調査会，横浜.

宮代周輔，1958. 神奈川植物目録. 112+38pp.（自費出版）.

大井次三郎，1975. 日本植物誌，顕花篇（改訂増補新版）. 1582pp. 至文堂，東京.

長田武正，1989. 日本イネ科植物図譜. 759pp. 平凡社，東京.

田中徳久，1992a. ハガワリトボシガラについて.

FLORA KANAGAWA, (32): 346-347.

田中徳久，1992b. 神奈川県産のウシノケグサ属植物について，1. ウシノケグサ類. 神奈川自然誌資料，(13): 77-87.

（神奈川県植物誌調査会）